

そえだ勝の「逆・介護保険」

～健康寿命を伸ばし、破たんしない介護財政を～

① 私は10年間訪問介護員でした。その時大きな矛盾が…

要介護度4

要介護度2



少しでも回復するようにリハビリし…



元気になることを目指して働きました…

要介護度とは… 軽度 ① ② ③ ④ ⑤ 重度

② 現状の介護保険制度は高齢者が元気になる**と介護事業者の報酬が減ってしまう**

行政からの報酬が今月から10万円減ります…

ところが

えっ!?

元気に
なったのに!?

要介護度4 報酬約30万円

要介護度2 報酬約20万円

③ 報酬が下がってしまうことがヘルパーの賃金にも影響し負の三重苦に…

④ その悪循環を

逆介護保険

で

断つ!



忙しくて手が足りない

低賃金

離職者増加

元気になるのに

サービス低下

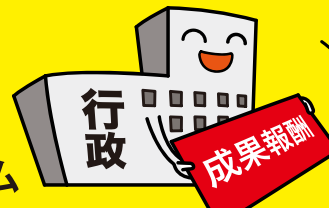


介護を受けたいのに断われた…

家族に負担が…

⑤ 「逆・介護保険」とは…

高齢者を元気にする「質の良い介護」を(要介護度が改善する)行なう事業者を評価し、**成果報酬**を付与するシステム



⑥ そして

オムツがとれて、トイレに行けたさらに自信がついて散歩もできた

家族の負担が減りました!

⑦ 散歩する高齢者が増えると街に大人の目が多くなります

子供の犯罪からの見守り

子供も安心して外で遊べるね!

空き巣対策

⑧ 質の良い介護で健康寿命を!! 破たんしない介護財政を!!

質の良い介護による報酬増

質の良い介護は社会全体に

(介護を受ける本人・介護する家族・地域)

好循環をもたらします

安心のサービス

正当評価でヘルパーのやりがい

